

— 中間報告より —

組合員: 36名(代表はカミン・バギ)で計画より4名減。この4名は干ばつで借金が嵩み、「先祖伝来の土地」の使用権を非先住民に譲ってしまった(抵当に入れた)ため今回は不参加。

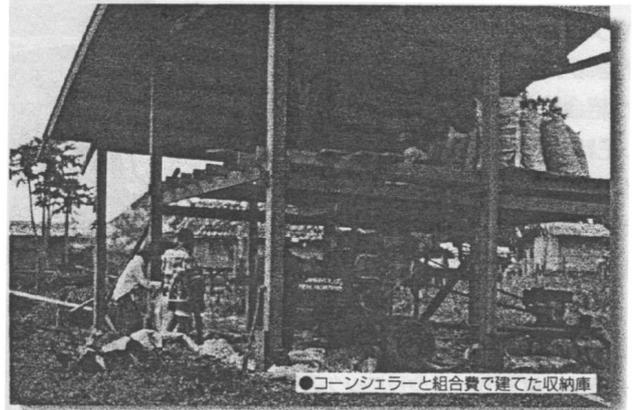
生産資材購入: 種子、肥料のほか、カラバオ(水牛)と馬各2頭、コーンシエラー(脱粒機)とエンジンを購入し、組合で管理・共同使用している。コーンミル(製粉機)の方は、中古でも予算オーバーで検討中。

組合費: すでに全員200%づつ(約700円)ずつ出資し、コーンシエラー収納庫を建設した。

組合理論セミナーと識字教室: オリエンテーションには31名参加。講師はラウロ、プラシド、メラニオ。識字教室は週末の二日間。30-40名が参加。講師は分校教師レスリーなど。



●組合所有のカラバオ(水牛)による播種準備



●コーンシエラーと組合費で建てた収納庫

事業期間に2回のコーンの収穫が見込まれ、組合員全員、利率10%のローン返済ができれば新たに受益者を増やせます。来年7月完了報告提出をもって事業を終了します。(山崎)

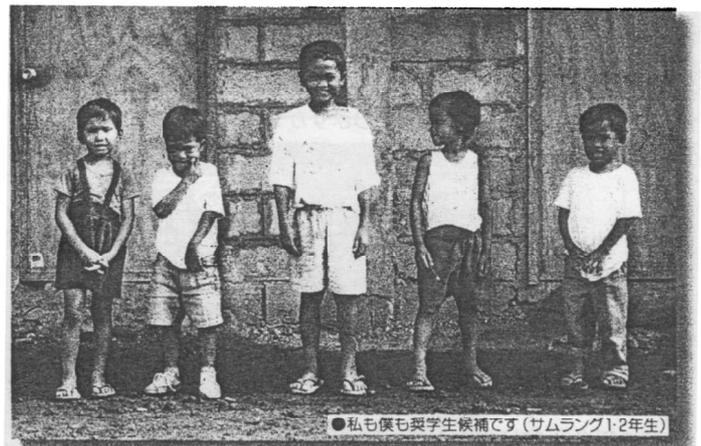
— 教育支援コーナー —

1998年度CMB運営のピラーン族の子どもたちのための小学校(登録児童数)

	Bolul	T'murok	Samlang	LamAfus	Mongocayo	Kiame	Rabilem	合計
1年		47	18	37	49	53	60	264
2年		25	26	24	18		16	109
3年		15	8	18	13			54
4年		12		12	7			31
5年	13	12		13				38
6年	13	6		9				28
合計	26	117	52	113	87	53	76	524
教師	3	5	2	3	3	2	1	19

Bolul地区のピラーンの初等教育は来年度すべて公立に移管。T'murokは本校になる予定。Samlangは開校2年目。Lamafusは、Lambusong校のことです。旧Lamafus校は、政府が運営引き継ぎました。Mongocayoは、政府が運営できなくなって(教師が定着しない)CMBが引き継ぎました。KiameとRabilemは、新設分校です。竹と草の仮校舎で始めました。524人の児童中、本年後期は当会で90名分の授業料支援(一人月額2ドル)をしています。

今年も、「新潟国際協力ふれあい基金」から、教師たちの給与補填助成をいただけることになりました。住民のよろず相談役も引き受けて多忙な教師に嬉しいクリスマスプレゼントになる予定です。



●私も僕も奨学生候補です(サムラング1・2年生)